

## 財団法人日本ふとん協会

ホームページアドレス

財団法人日本ふとん協会・全日本寝装品製造協同組合

<http://www.zennichimen.or.jp/>

財団法人日本ふとん協会が協力するリサイクルの記事です。

# 全日本寝具寝装品協会（JBA）概要

【会 長】 西川 甚五郎（西川産業㈱）

【副会長】 井上 久嘉（㈱報徳）、麻生 普（㈱フジライフ）

【会 員】

団 体 名	理事長 会 長	所 在 地	電話番号 FAX 番号	会員数
全日本わた寝装品製造協同組合	井上 久嘉 （㈱報徳）	東京都中央区 八重洲 2-3-11	03-3281-2714 03-3281-1720	1 6 0
日本寝具製造卸組合連合会	西川 甚五郎 （西川産業㈱）	東京都中央区 日本橋富沢町 8-8	03-3666-8244 03-3664-1765	9 9
日本羽毛寝具製造業協同組合	麻生 普 （㈱フジライフ）	東京都中央区 日本橋 3-6-10	03-3281-7828 03-3281-7829	1 3 6
ふとん地流通協会	蔭山 照治 （蔭山㈱）	大阪府中央区 北久宝寺町 4-2-10	06-6243-4690 06-6243-4692	9



<p>平成 8 年 9 年</p>	<p>研究・開発：「廃棄寝具のサーマルリサイクル技術の開発」 ・使用済みふとんの固形燃料（RDF）化装置の開発 （NEDO事業）</p>	<p>（1）綿、ウール、ポリエステルを原料（混綿を含む）としたふとんについて、水をバインダーとしてRDF化装置の開発 （2）実験用プラントを建設し実証実験を行い技術確認。</p>												
<p>平成 9 年</p>	<p>研究・開発：「易リサイクル布団の商品開発」 ・ポリエステル100%の易リサイクルふとんの商品開発を日本化学繊維協会と共同で実施 （財リサーチセンター補助事業）</p>	<p>（1）ふとん側地と中わたの易分離性を中心に検討。 （2）掛けふとん、敷きふとん、こたつふとんの試作と試作品の着用試験を実施。</p>												
<p>平成 10 年</p>	<p>調査・研究：「廃棄ふとんの回収システム構築のための調査研究」 ・廃棄ふとんのより有効的な回収システムを構築するため調査研究事業で、関東、中部、近畿の3地区で寝具専門店の協力を得てモデル回収を実施。併せて、モデル回収時に消費者アンケートを実施。</p>	<table border="0"> <tr> <td>（1）回収している企業数</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>（2）回収数量</td> <td>生産量の11%に相当</td> </tr> <tr> <td>（3）消費者の処分方法</td> <td>粗大ごみ 39% 下取りセール 20%</td> </tr> <tr> <td>（4）回収ルート</td> <td>販売店 45% 集積場所 31%</td> </tr> <tr> <td>（5）回収頻度</td> <td>半年に1回 55% 3ヶ月に1回 15%</td> </tr> <tr> <td>（6）リサイクルふとんの購入意識</td> <td>安価であれば購入 59% リサイクル観点から購入 24%</td> </tr> </table>	（1）回収している企業数	46%	（2）回収数量	生産量の11%に相当	（3）消費者の処分方法	粗大ごみ 39% 下取りセール 20%	（4）回収ルート	販売店 45% 集積場所 31%	（5）回収頻度	半年に1回 55% 3ヶ月に1回 15%	（6）リサイクルふとんの購入意識	安価であれば購入 59% リサイクル観点から購入 24%
（1）回収している企業数	46%													
（2）回収数量	生産量の11%に相当													
（3）消費者の処分方法	粗大ごみ 39% 下取りセール 20%													
（4）回収ルート	販売店 45% 集積場所 31%													
（5）回収頻度	半年に1回 55% 3ヶ月に1回 15%													
（6）リサイクルふとんの購入意識	安価であれば購入 59% リサイクル観点から購入 24%													

<p>平成 11 年</p>	<p>調査・研究：「使用済みふとんのリサイクル用途開発のための調査研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 製造・卸売業の回収・リサイクル意識</li> <li>(2) 寝具専門店の回収・リサイクル意識</li> <li>(3) 廃棄物処理の技術動向</li> <li>(4) ふとん綿の資源化技術調査と資源化実験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 回収・リサイクルに関する意識 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心がある 卸 84%、小売店 92%</li> </ul> </li> <li>(2) リサイクルを進める上で問題点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用負担問題 卸 81%、小売店 57%</li> <li>・ 回収ルート・方法の確立 卸 74%、小売店 35%</li> <li>・ 保管場所 卸 68%、小売店 48%</li> <li>・ リサイクル方法の確立 卸 56%、小売店 45%</li> </ul> </li> <li>(3) 小売店が回収拠点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販促につながれば回収 64%</li> <li>・ 消費者から依頼が回収 59%</li> </ul> </li> <li>(4) 資源化実験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パルプ原料</li> <li>・ コットンわたの活性炭</li> <li>・ リサイクルボードの試作</li> </ul> </li> </ul>
<p>平成 13 年</p>	<p>検討：グリーン購入法「特定調達品目」の判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一段階として、ふとん側地又は詰めものに再生ペット樹脂（再生ペット、繊維製品などを原材料として再生利用）を重量比で 10%以上使用のこと。（斉藤委員長他各委員が担当）</li> </ul>	<p>9月に提案書を環境省に提出</p>